

# 格差をなくし、8時間働けば誰もが人間らしく暮らせる職場と社会を！

## 大阪春闘共闘委員会結成総会

11月6日、2021年大阪春闘共闘委員会結成総会を開催しました。大阪労連の菅議長が主催者挨拶に続き、嘉満事務局長から役員体制(案)、国民春闘方針(構想案)、主なとりくみ(案)が提案されました。2021春闘では、コロナ禍だからこそ、賃金の大幅引き上げ・底上げに確信を持ってたたかえるようにすること、そのためにも「要求対話」を重視し、要求討議では、人間らしく暮らすために必要な生計費原則にもつづいて要求づくりを



を進めることが強調されました。また、「人間らしく働くルールをつくる」「医療・社会保障と公共体制をつくる」改憲を阻止し



## 「コロナ禍だからこそ」のちやひびく雇用と地域を守る全国統一行動

春闘共闘委員会結成に先立って11月5日に「コロナ禍だからこそ」のちやひびく雇用と地域を守る全国統一行動」として、早朝宣伝に取り組みました。各弁士からは、「コロナ禍で労働者の雇用を守ることが地域経済を守ることにつながります。労働組合に入って、声を上げる企業などで働く非正規労働者の手当や休暇制度における格差是正を一步前進させるものとして評価できますが、非正規労働者の正規労働者との大きな格差の要因となっている基本給や賞与・退職金などの基本的な労働条件の格差が是正されなければ、正規労働者と非正規労働者に広がった大きな格差を是正することは出来ません。現在、非正規労働者は2120万人を超え、非正規率は38%に達するなど、格差是正・均等待遇の実現は喫緊の課題です。各職場で、今回の判決で勝ち取った各種手当

やパート・有期法などを活用して、非正規労働者の労働条件向上に向けて取り組み、組織拡大・強化につなげましょう。

## 大阪府とコロナ対策の緊急要望書で懇談

# 実態に応じ、大阪府としての独自の対策を



参加者から「コロナで患者が減って給料が払えなくなっている。医療機関に対し、医療従事者を確保し続ける賃金補償などの保障を」「医療従事者は感染リスクと風評被害の不安もあり、コロナ患者を受け入れることはなかなか困難な実態がある」「医療機関の情報や入院を受け入れてもらえる医療機関など、医療圏をまたいででも情報を得られる連携も必要」などを要請しました。

府当局からは「新型コロナウイルス対応の求人に対する医療従事者派遣サービスの活用を補助し援助している」「すべての医療機関への財政措置は困難」「関係者の相談ホットラインや感染者への差別に対する広報をHPやLINEで知らせている」「地域の医療機関のネットワークは保健所中心に、連携するための会議を必要に応じて開催している」などの回答があり、財政がかかることにはほとんど体制がとれていない状態がわかってきました。



大阪医療問題連絡会では引き続き、大阪府に対してコロナ対策を充実するように運動を広げていきます。

## 均等待遇の実現で組織拡大・強化を

10月13日と15日に最高裁は、旧労働契約法20条における有期雇用労働者における労働条件の禁止が争点となった大阪医科薬科大学事件、メトロコマース事件、日本郵便事件について、相次いで判決を言い渡しました。日本郵便事件では、扶養手当、住宅手当、年末年始勤務手当、有給の病気休暇制度、夏期冬期休暇及び祝日給手当について、各手当等の趣旨が原告ら契約社員にも当てはまるものとして、格差は不合理であり、違法とす

る原告勝訴の判決を言い渡しました。大阪医科薬科大学事件では、非正規労働者と正規労働者との賞与の格差、メトロコマース事件では、非正規労働者と正規労働者との退職金の格差を認めない、いずれも極めて不当な判決を言い渡しました。(両事件とも最高裁判決は認めていません)

日本郵便事件の判決が、扶養手当や住居手当、一定の休暇などの格差を不合理なものとして違法とした点は、あらゆる企業などで働く非正規労働者の手当や休暇制度における格差是正を一步前進させるものとして評価できますが、非正規労働者の正規労働者との大きな格差の要因となっている基本給や賞与・退職金などの基本的な労働条件の格差が是正されなければ、正規労働者と非正規労働者に広がった大きな格差を是正することは出来ません。

**国労大阪会館を**  
 研修・学習会などにご利用ください  
 JR・天満駅 地下鉄・扇町駅 下車すぐ  
 ◆身障者用昇降機設置  
 お申し込みは ☎06(6354)0661  
 〒530-0034 大阪市北区錦町2-2

# 維新政治を打破し、住民自治を大阪に取り戻す 共同を広げよう



大阪労連は、今回行われた住民投票を、①大阪市の経済が低迷する②労働者の解雇や賃金カットにもつながる危険性がある③「維新の会の強権政治ストップ・カジノ誘致阻止」が改憲勢力に痛打を浴びせ憲法改悪阻止にも

つながるなど、重要なたたかいと位置づけ、職場と地域でたたかいたいを広げてきました。その中で市民と共同した運動が広がり、反対多数で住民投票勝利につながりました。

今回の住民投票は、コロナ禍で苦しむ市民を置き去りに、「説明不足」の声を切り捨てる再び勝ち取った到達点に確信を持ち、1年内に行われる総選挙も視野に、「維新政治NO!」のたたかいを強めながら、憲法がいきる政治への転換と住民自治の再構築を求め、共同をさらに広げ、奮闘していきます。

## かがやけ憲法！ 平和といのちと人権を！

### 11・3おおさか総会がかり集会

11月3日、おおさか総会がかり集会が阿倍野区民センターで開催されました。コロナ対策で参加人数を制限した中、300人が参加しました。オンライン配信も行いました。

はじめに、会場参加者で住民投票勝利を喜びました。立憲民主党、日本共産党、社民党の野党各党代表が連帯あいさつ、市民運動から枚方市原爆被害者の会会長の森容香さんがスピーチ、連帯スピーチとして韓国の金敬敏さん、沖繩の安次富浩さんがお話しされました。



最後に大阪憲法会議副幹事長の梅田章二さんのまとめと行動アピールを確認して、集会を終了しました。